

AVASTA

Quick Assembly Guide

(組み立てガイド)

AN9000

This quick assembly guide is not a replacement for the user manual for your bicycle.
Please scan the QR code on the back cover to download the full user manual.

安全注意事項

はじめに

製品に関するお問い合わせは、製品のSKUコード(箱に記載)と注文番号を明記の上、support@memocycles.comまでメールにてご連絡ください。

自転車の防犯登録に必要な販売証明書は工具の小箱内に同梱されています。必要事項をご記入の上、お近くの自転車販売店にお申し込みください。ご不明な点がございましたら、カスタマーサービスメールまでお問い合わせください。

注意:本書は本モデルの自転車を対象とした組み立て説明書です。走行前に必ず本書巻末のQRコードを読み取り、完全な自転車の取扱説明書および安全上の注意事項をダウンロードし、熟読してください。また、巻末にはYouTubeでの取り付け説明動画へのQRコードも記載されていますので、併せてご参照ください。

安全について

初乗りは、車や他の自転車、障害物などが少ない安全な場所で行ってください。新しい自転車のすべての操作装置や機能、特にブレーキの効き具合を十分に確認してください。

自転車に初期不良がある場合は、必ずカスタマーサービスメールにご相談ください。

必ずヘルメットを着用してください! ヘルメットのフィット感、使用方法、お手入れについては、必ずメーカーの指示に従ってください。自転車事故による重傷の多くは頭部損傷であり、適切なヘルメットを着用していれば防げた可能性があります。膝、肘、背中、肩などを保護するプロテクターの着用を強く推奨します。保護メガネも推奨します。

服装は明るい色で目立ちやすく、チェーンやホイールに巻き込まれない服装を着用してください。服装の巻き込まれは自転車のコントロールを失って転倒する原因となります。天候に合わせた服装を心がけてください。履物はペダルをしっかり捉えられるもので、靴ひもが垂れていないものを選んでください。

地域の交通規則を必ず確認し、守ってください。自転車は他の交通参加者と道路を共有していることを認識し、相手に自分の存在が認識されていないものと想定して、交通量の多い道路や大型車両の近くでは最大限の注意を払って走行してください。

オフロードを走行する場合は、より高度な注意と技術が求められます。スピードを出したり、難しい地形に挑戦する前に、自転車の特性を十分に理解してください。

自転車の使用について

固定ギアバイクは障害物のない舗装路での走行を目的として設計されています。固定ギアバイクは、ペダル抵抗やスキッドストップによる制動操作に習熟していることが前提です。一部の仕様では後輪のハンドブレーキが装備されていない場合があります。ジャンプ、トリック、オフロード走行、チャイルドシートやトレーラーの取り付けには適しません。固定ギアバイクを公道で走行する場合は、ライトやブレーキに関する地域の法規を守ってください。

開梱と付属品の確認

梱包を開け、保護材を取り外す際には、鋭利なものを使用しないでください。塗装や自転車の部品を損傷する恐れがあります。

梱包材はすべて、子供の手の届かない場所に保管してください。

- すべての部品を梱包箱から取り出してください。
- 保護材を取り外してください。
- 同梱品がすべて揃っているか、また各部品に破損がないかを確認してください。

組み立てと初期セッティング

自転車は、ライダーの身長に合わせてサドルの高さを調整する必要があります。サドルの高さは、ペダルを一番下まで踏み込んだときに膝がわずかに曲がる位置に設定し、効率的で快適なペダリングができるようにしてください。また、トップチューブにまたがった際に、股下に十分な余裕があることを確認してください。シートポストの最低挿入深さを示すマーク(最低挿入ライン)を必ず守ること。

ペダルを取り付ける際は、左右のねじの違い(ペダル軸のねじ付近にRまたはLの刻印あり)に注意してください。組み立て手順の図解は、後続ページに記載されています。

注意:不適切な組み立ては、危険な状況、事故、重傷につながる恐れがあります。そのため、組み立て後は安全チェックリストに従って自転車の点検を必ず実施してください。不明な点がある場合は、専門販売店にご相談ください。

メンテナンスとお手入れ

安全上の理由から、初回点検は数時間の慣らし運転期間経過後に実施してください。

すべてのメンテナンス作業には専門知識が必要です。ご自身での作業に不安がある場合は、販売店にご相談ください。

融雪塩から自転車を保護し、湿気の多い場所(例:ガレージ)での長期保管は避けてください。やむを得ず湿気の多い環境で保管する場合は、塗装されていない金属部品(ボルト、ナットなど)の表面を適切な表面被覆剤(例:スプレーワックス)で保護してください。ハブやボールベアリングは、専門店で定期的に調整と注油の点検を受ける必要があります。清掃に高圧洗浄機やスチームジェットは使用しないでください。

注油、清掃、防錆対策

すべての塗装面および金属面は、市販のカーケア用品で清掃・保護できる。環境に配慮した製品のみを使用し、刺激性の強い洗浄剤は使用しないこと。チェーンは定期的に注油(チェーンオイルまたは汎用オイル)し、必要に応じて清掃すること。リムの側面(制動面)は、油脂分のない状態に保つこと。

ブレーキについて

右ブレーキレバーは前輪ブレーキを、左ブレーキレバーは後輪ブレーキを操作します。ブレーキレバーはケーブルによってブレーキキャリパーと接続されています。レバーを握るとキャリパーが作動し、自転車を減速・停止させます。

ハンドブレーキレバーを握った際、制動力が発生するまでにレバーがハンドルまで半分以上引けてしまう場合は、ブレーキを調整する必要があります。ブレーキの制動面は清潔で、グリースなどが付着していない状態に保ち、ブレーキパッドは互いに平行でなければなりません。

摩耗したパッドは直ちに交換してください！

摩耗の注意

自転車は、すべての機械部品と同様に、摩耗や高い負荷にさらされます。特に摩耗が発生しやすい部品は以下の通りです：タイヤ(チューブを含む)、リム、ブレーキパッド、ブレーキケーブル、チェーン、スプロケット、ベアリング、グリップカバー。異なる素材や部品は、負荷による摩耗や損耗に対して異なる反応を示す可能性があります。部品がその想定される使用寿命を超えた場合、突然の破損が発生し、ライダーに危害を及ぼす恐れがあります。高い負荷がかかる部分におけるひび割れ、傷、変色などは、部品の寿命が尽きたことを示す兆候です。その場合は、部品を交換しなければなりません。

タイヤ空気圧について

- タイヤの側面に表示されている許容空気圧範囲を必ず守ること。
- 空気圧を高く設定すると耐パンク性は向上するが、乗り心地やグリップ力は低下する。
- 空気圧が低すぎる状態(空気圧不足)は、タイヤの摩耗を早め、パンクのリスクを高める。
- 最大空気圧は、タイヤの側面とリムに表示されている数値のうち、低い方の値を決して超えてはならない

保証について

保証は、製品の初期不良や製造上の欠陥を対象としています。ただし、以下のような理由による損傷は保証の対象外となります：

- 誤った使い方や乱用
- ご自身での改造
- 定期的な手入れの不足
- 通常使用による摩耗や劣化

サイクリングをお楽しみください！

安全チェックリスト

サドル

- ☐ 確実に固定され、回転できないこと
- ☐ 最低挿入ラインが守られていること
- ☐ 足の裏の付け根が地面に届くこと

ハンドル/ステム

- ☐ ステムが確実に固定されていること
- ☐ ハンドルが確実にステムに固定されて前後左右に動けないこと

ブレーキ

- ☐ ブレーキレバーが確実に固定され、容易に操作できること
- ☐ ブレーキの効きが正常であること
- ☐ ブレーキパッドが清潔で、油脂分がなく、正しく位置決めされていること

チェーン

- ☐ チェーンの張りが適切であること(たるみ約1.5 cm)
- ☐ 注油されていること

タイヤ

- ☐ 十分な溝の深さ／適正な空気圧(適正空気圧はタイヤ側面に表示)

ホイール

- ☐ アクスルナットが確実に締め付けられていること、がたつきがないこと
- ☐ スポークの張りが均等であること
- ☐ ホイールに振れがないこと

ペダル

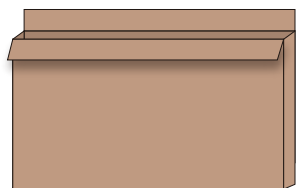
- ☐ 確実に正しく取り付けられていること(L/Rの刻印に注意)
- ☐ 回転がスムーズであること
- ☐ 取り付け角度が正しいこと

ベル

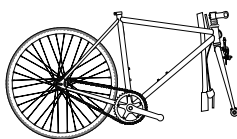
- ☐ 公道走行時は、必ずベルが取り付けられていること
- ☐ 澄んだ音が鳴り、容易に手が届くこと

組み立てガイド

01 同梱品一覧



P1:フレーム



P2:前輪



P3:ペダル

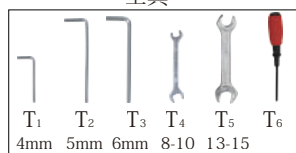


P4:サドル



P5:付属品

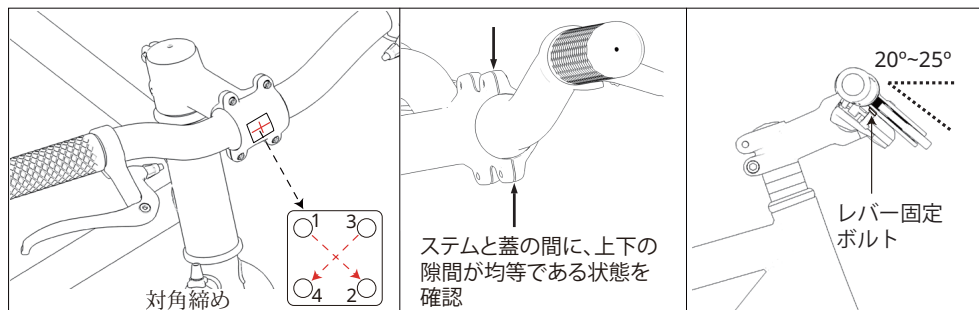
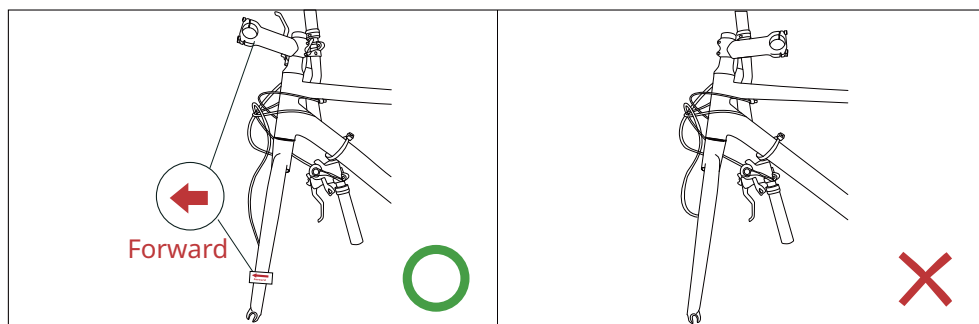
工具



02 組み立てガイド

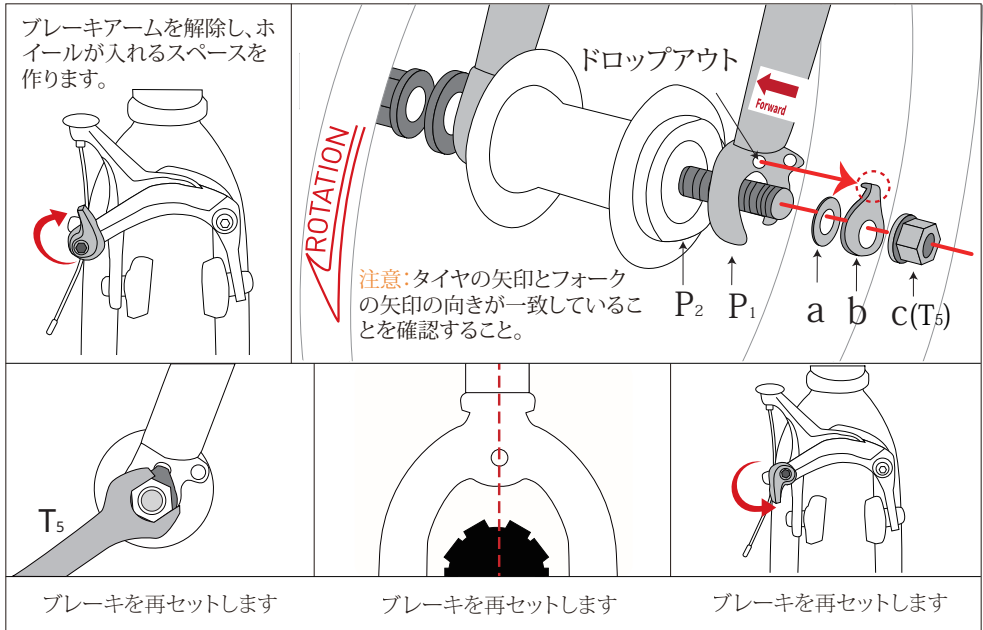
1. ハンドルの取り付け

ハンドルを取り付ける前に、まずフロントフォークの向きを確認します。ブレーキキャリパーとラベルの矢印が進行方向を向き、ブレーキケーブルがねじれていないことを確かめてください。ステム上部の蓋を留める4本のボルトを緩め、ハンドルをステムに挿入します。図の順番(対角締め)でボルトを少しずつ均等に締めていき、ステムの周囲の隙間が均一になるようにしてください。しっかり締め付ける前に、ハンドルがステムの中心に位置していることを必ず確認します。ブレーキ固定ナットを緩め、ブレーキレバーを20~25度の下向き角度になるように調整してください。



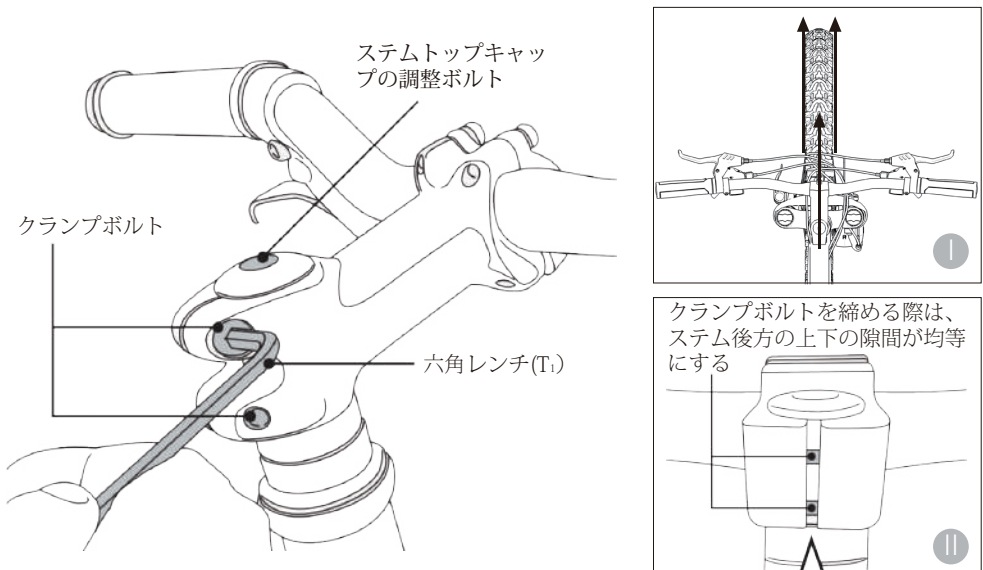
2.前輪の取り付け

ブレーキのケーブルを外してから、前輪を以下の順番で取り付けます。



3.ハンドル方向調整

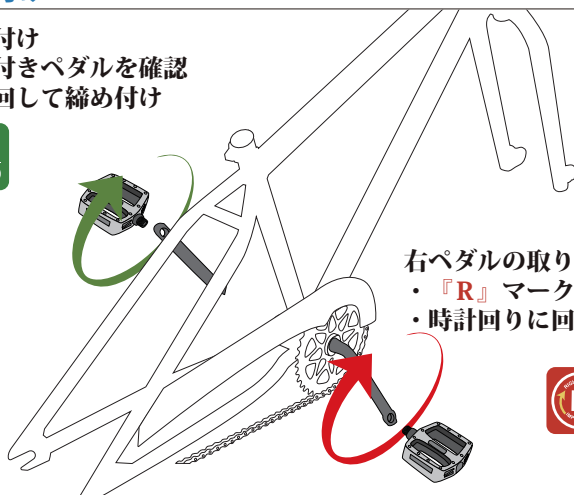
クランプボルトを緩め、トップキャップボルトに緩みがないことを確認します。ハンドルの向きを、前輪に対して垂直に合わせます(図Ⅰ参照)。ハンドル位置を保持したまま、クランプボルトを規定トルク(図Ⅱ参照)で締め付け、固定します。



4.ペダルの取り付け

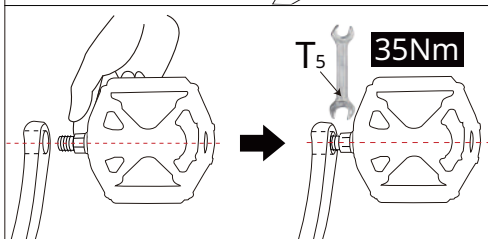
左ペダルの取り付け

- ・『L』マーク付きペダルを確認
- ・反時計回りに回して締め付け



右ペダルの取り付け

- ・『R』マーク付きペダルを確認
- ・時計回りに回して締め付け

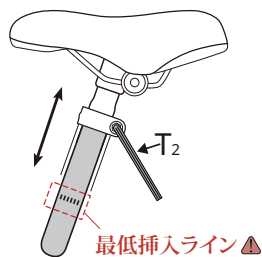


まず、ペダルをクランクに手で締め込み、ねじ山を合わせてクロスネジを防止する。その後、レンチを使用して確実に締め付ける。

5.サドルの取り付け

ボルトクランプ固定: 固定ボルトを緩め、シートポストをフレームに挿入し、サドルの高さを調整した後、固定ボルトを確実に締め付ける。

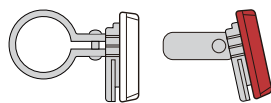
警告:シートポストの「最低挿入ライン」が完全に隠れるまで確実に差し込むこと。ラインが露出した状態で使用すると、サドルが破損し、転倒による重大な事故につながる恐れがある。



6.アクセサリーの取り付け

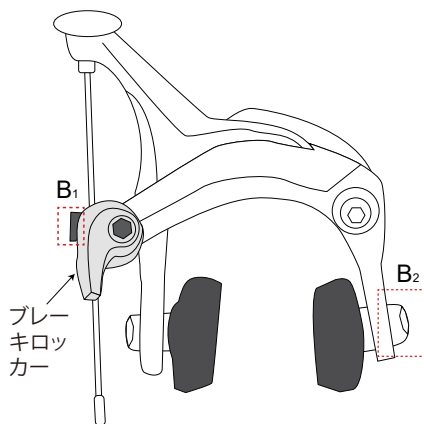
実際にご購入いただいた製品に含まれる部品が優先されます。本説明書に記載されている内容は参考用であり、お客様がお持ちの製品の構成部品とは異なる場合があります。

リフレクターを適切な位置に取り付けます。フロントリフレクター(白色)はハンドルに、リアリフレクター(赤色)はシートポストに取り付けてください。



リフレクター

03 キャリパーブレーキの調整



ブレーキ調整動画
(YouTube)

ブレーキパッドの位置合わせ:

パッド固定ボルトB₂でパッドの上下位置と角度を調整できる。ブレーキ非作動時には左右のパッドとリムの隙間が均等で、かつ1~2 mmに保つこと(ホイールが左右のパッドの中央に位置すること)。ブレーキレバーを握った際には、両方のパッドがリムを均等に挟み込み、リムと平行になるように調整する。

ブレーキワイヤーの張力調整:

ワイヤー固定ボルトB₁でブレーキワイヤーの張力を調整することによって、ブレーキの効き具合を調整する。

04 後輪固定ギアとフリーギアの切替手順

本製品は出荷時、フリーギア仕様に設定されています。固定ギア仕様に変更する場合は、以下の手順でお客様ご自身で作業を行ってください。なお、固定ギアからフリーギアに戻す場合も、同様の手順で行えます。作業には専門知識が必要です、不安な場合は、自転車専門店にご依頼ください。

フリーから固定ギアに切替手順

1. 後輪を取り外す

アクスルナットを緩めて後輪をフレームから取り外す。チェーンをスプロケットから外す。

2. ホイールの向きを反転させる

ホイールを前後逆にする(今まで左側にあったスプロケットが右側に来るようにする)。

3. チェーンを掛け直す

反転させたホイールをフレームのドロップアウトにセットし、チェーンをスプロケット(固定ギア側)に掛ける。

4. チェーンの張りを調整する

ホイールを後方に引くなどして、チェーンのたるみが約1~2cmになるように調整する。

アクスルナットを仮締めし、張りが均等であることを確認する。

5. アクスルナットを本締めする

ホイールがフレームの真ん中に正しく入っていることを確認し、アクスルナットを規定トルク(例: 前後20~25 Nm)で締め付ける。

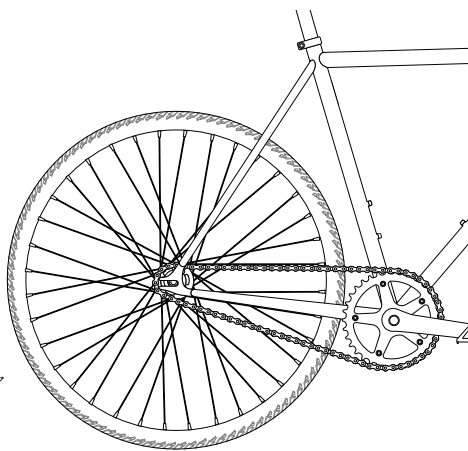
6. 動作確認

ペダルを回し、スプロケットとチェーンに異常がないことを確認する。

固定ギアの場合は、ペダルを止めるとホイールも止まることを確認する(ブレーキ操作に慣れるまで低速で試走すること)。



ギアの切り替え動画
(YouTube)



Safety Precautions

Introduction

For inquiries regarding the product, please email support@memocycles.com with the product SKU code (indicated on the box) and order number clearly stated.

The proof of purchase required for bicycle registration is included in the small tool box. Please fill in the necessary information and apply at your local bicycle shop. If you have any questions, please contact customer service via email.

Note: This document is the assembly guide book for this specific bicycle model. Before riding, be sure to scan the QR code on the back cover of this guide book to download and carefully read the complete bicycle user manual and safety precautions. Additionally, a QR code for the YouTube assembly instruction video is also provided on the back cover, please refer to it as well.

Safety

For your first ride, choose a safe location with minimal traffic, other cyclists, and obstacles. Thoroughly familiarize yourself with all controls and features of your new bicycle, especially the braking performance.

If you discover any initial defects with the bicycle, be sure to contact customer service via email.

Always wear a helmet! Follow the manufacturer's instructions for helmet fit, use, and care. Most serious cycling injuries involve head trauma, many of which could have been prevented by wearing a properly fitted helmet.

Wearing protective gear for knees, elbows, back, shoulders, and other areas is highly recommended. Protective eyewear is also recommended.

Wear bright, highly visible clothing that will not get caught in the chain or wheels. Loose clothing can become entangled, causing you to lose control and fall. Dress appropriately for the weather. Choose footwear with good pedal grip and ensure laces are securely tied.

Be sure to know and follow all local traffic laws. Remember that you share the road with others, and always assume they haven't seen you. Exercise maximum caution on busy roads and near large vehicles.

When riding off-road, increased attention and specific skills are required. Before attempting higher speeds or challenging terrain, fully understand your bicycle's characteristics.

Regarding the Use of the Bicycle

The fixed-gear mode is intended for use on closed courses or private property only, and is not designed for riding on public roads. Riding a fixed-gear bicycle requires the rider to be proficient in braking techniques using pedal resistance and skid stops. Some models may not be equipped with a rear handbrake. This bicycle is not suitable for jumps, tricks, off-road riding, or the attachment of child seats or trailers. If the bicycle is used in fixed-gear mode, it must not be ridden on public roads. Always comply with local regulations regarding lights and brakes when using any bicycle on public roads.

Unpacking and Checking Included Items

When opening the packaging and removing protective materials, do not use sharp objects. Doing so may damage the paint or bicycle components.

- Keep all packaging materials out of the reach of children.
- Remove all parts from the packaging box.
- Remove the protective materials.
- Check that all included items are present and that each component is free from damage.

Mounting and putting into operation

The bicycle must be adjusted to suit the rider's height. The saddle should be set so that when seated, the leg is slightly bent at the bottom of the pedal stroke, allowing for efficient and comfortable pedaling. When standing over the top tube, the rider should have adequate clearance for safety. The marking indicating the minimum insertion depth of the seat post into the seat tube must be observed.

Once the saddle position is set, the handlebars, brake levers, and bell should be easily accessible and comfortably positioned for the rider.

When mounting the pedals, note the left-hand or right-hand thread (marked with R or L near the thread on the pedal axle). The assembly instruction illustrations are provided on the following pages.

CAUTION: Incorrect final assembly can lead to dangerous situations, accidents, and serious injuries. Therefore, after assembly, carry out an inspection of the bicycle according to the safety checklist. If in doubt, contact your specialist dealer.

Maintenance and care

For safety reasons, the first inspection of the bicycle should be carried out after a running-in period of a few hours.

All maintenance work requires specialist knowledge. Please consult your dealer if you are unsure whether you can perform it yourself.

Protect the bike from road salt and avoid storing it in damp rooms (e.g., a garage) for extended periods. If you do store the bike in a damp environment, protect the surfaces of unpainted metal parts (screws, nuts, etc.) with a suitable surface sealant (e.g., spray wax). Hubs and ball bearings should be checked periodically for adjustment and lubrication by a specialist. Do not use a high-pressure cleaner or steam jet for cleaning.

Lubrication, cleanliness, and corrosion protection

All painted and metal surfaces can be cleaned and protected with commercially available car care products. Use only environmentally friendly, never aggressive, cleaning agents. Oil the chain regularly (using chain oil or universal oil) and clean it if necessary. The side flanks of the rims (braking surfaces) must be kept free of grease!

About the Brakes

The right brake lever operates the front brake, and the left brake lever operates the rear brake. The brake levers are connected to the brake calipers via cables. Squeezing the lever activates the caliper, slowing down or stopping the bicycle.

If the handbrake lever can be pulled more than halfway to the handlebar before braking force is generated, the brake needs to be adjusted. The braking surfaces must be kept clean and free of grease, and the brake pads must be parallel to rim. Worn pads should be replaced immediately!

Notes on Wear

Like all mechanical components, bicycles are subject to wear and high stress. The following parts are particularly prone to wear: tires (including inner tubes), rims, brake pads, brake cables, chains, sprockets, bearings, and grip covers. Different materials and components may respond differently to wear and tear caused by stress. If a part exceeds its intended service life, sudden failure may occur, potentially causing injury to the rider. Cracks, scratches, or discoloration in areas subject to high stress are signs that the part has reached the end of its life. In such cases, the part must be replaced.

About Tire Pressure

- Always adhere to the permissible air pressure range indicated on the tire sidewall.
- Setting the air pressure higher improves puncture resistance but reduces ride comfort and grip.
- If the air pressure is too low (underinflation), tire wear will accelerate and the risk of puncture increases.
- The maximum air pressure must never exceed the lower of the two values indicated on the tire sidewall and the rim.

About the Warranty

The warranty covers initial defects or manufacturing defects in the product. However, damage caused by the following reasons is excluded from this warranty:

- Improper use or abuse
- Modifications made by the user
- Lack of regular maintenance
- Normal wear and tear

Enjoy your cycling!

Safety Checklist

Saddle

- ☐ Firmly secured and cannot rotate
- ☐ Minimum insertion depth marking is observed
- ☐ Balls of the feet reach the ground

Handlebar / Stem

- ☐ Stem is securely fixed
- ☐ Handlebar is firmly attached to the stem and does not move forward, backward, or sideways

Brakes

- ☐ Brake levers are securely fastened and easily operable
- ☐ Brake function is normal
- ☐ Brake pads are clean, free of grease, and correctly positioned

Chain

- ☐ Chain tension is appropriate (approx. 1.5 cm of play)
- ☐ Chain is lubricated

Tires

- ☐ Sufficient tread depth / proper tire pressure (proper tire pressure is indicated on the tire sidewall)

Wheels

- ☐ Axle nuts are securely tightened and free of play
- ☐ Spoke tension is even
- ☐ Wheel shows no sign of wobble

Pedals

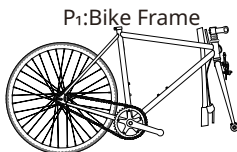
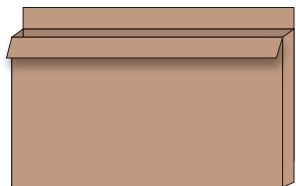
- ☐ Securely and correctly installed (pay attention to the L/R markings)
- ☐ Rotates smoothly
- ☐ Installation angle is correct

Bell

- ☐ A bell is installed when riding on public roads
- ☐ Produces a clear ring and is easy to reach

Installation Instructions

01 Accessories list



P1:Bike Frame

P2:Front Wheel



P3:Pedals

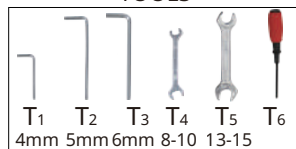


P4:Saddle



P5:Accessories

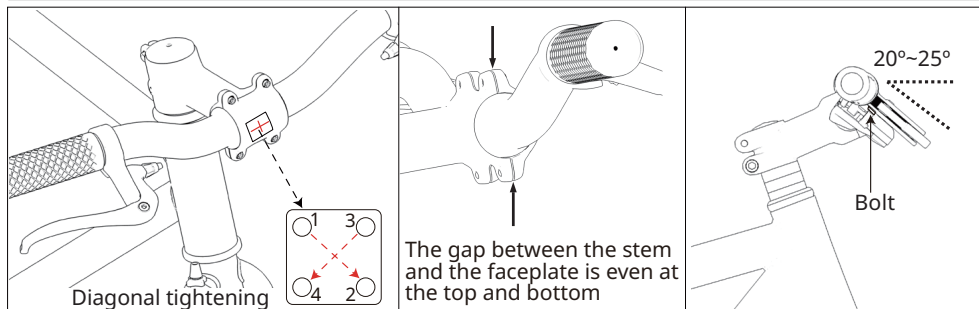
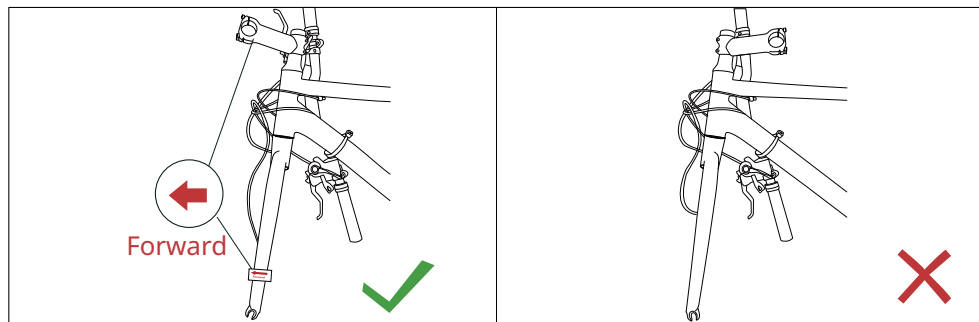
TOOLS



02 Installation Guide

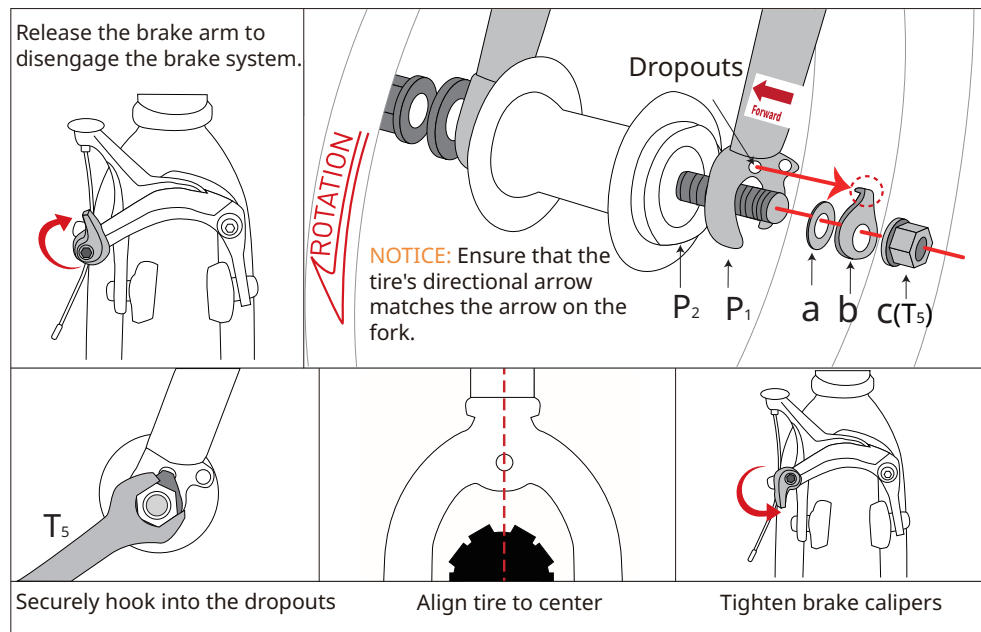
1.Install the handlebar

Before installing the handlebar, first check the orientation of the front fork. Make sure the brake caliper and the arrow on the label are pointing in the direction of travel, and that the brake cable is not twisted. Loosen the four bolts securing the stem top cap, then insert the handlebar into the stem. Gradually and evenly tighten the bolts in the sequence shown in the illustration (diagonal tightening) until the gap around the stem becomes uniform. Before final tightening, be sure to confirm that the handlebar is centered in the stem. Loosen the brake fixing nut and adjust the brake lever to a downward angle of 20–25 degrees.



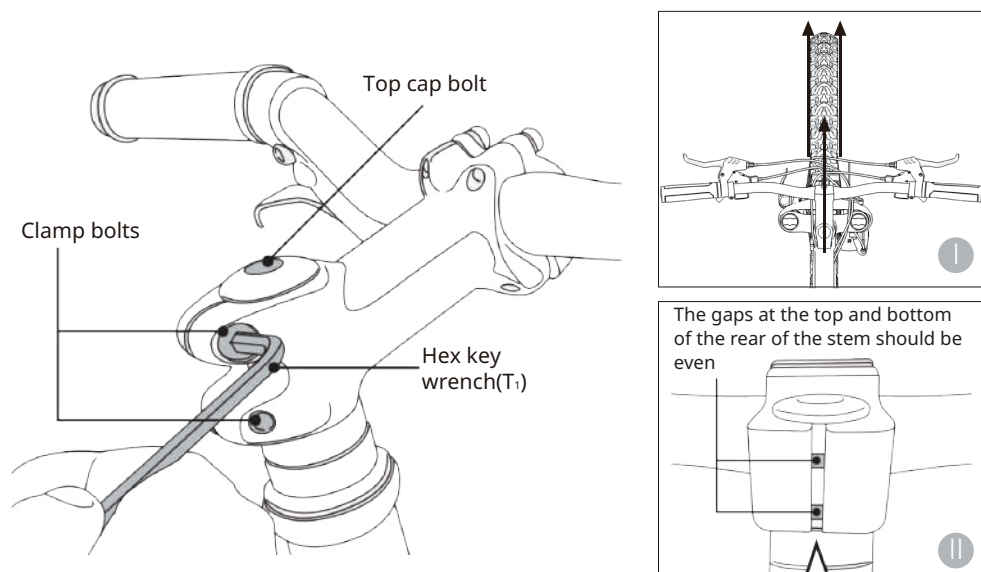
2.Install the front wheel

Remove the brake cable, then install the front wheel in the following order.



3.Perpendicular alignment

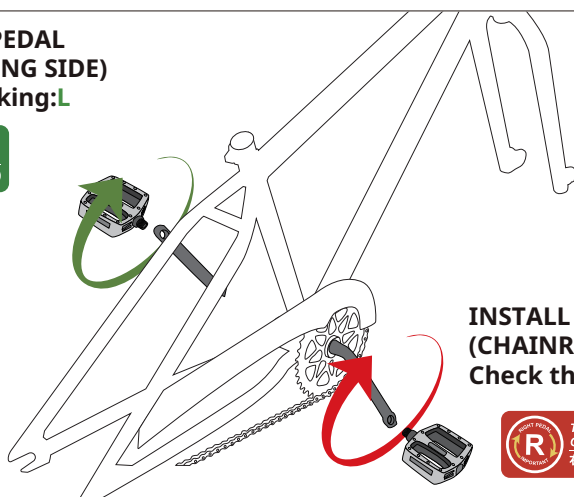
Loosen the clamp bolts and verify that the top cap bolt has no looseness. Align the handlebar perpendicular to the front wheel (see Figure I). While maintaining the handlebar position, tighten the clamp bolts to the specified torque (see Figure II) to secure it.



4.Install the pedals

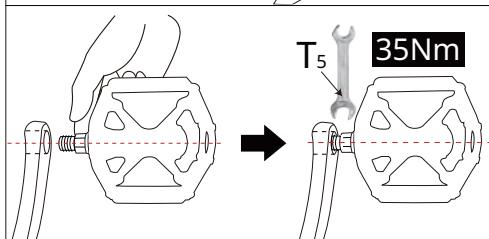
INSTALL LEFT PEDAL (NON-CHAINRING SIDE)

Check the marking:**L**



INSTALL RIGHT PEDAL (CHAINRING SIDE)

Check the marking:**R**



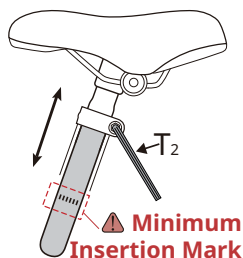
Firstly, hand-tighten the pedals into the cranks to align the threads and avoid cross-threading. Then, use a wrench to securely tighten them.

5.Install the saddle

Bolt clamp fixing

Loosen the fixing bolt, insert the seat post into the frame, adjust the saddle height, and then securely tighten the fixing bolt.

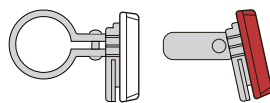
WARNING: The seat post must be inserted securely until the “Minimum Insertion Mark” is completely concealed. If used with the line exposed, the saddle may become damaged, leading to a serious accident due to loss of control or a fall.



6.Install bicycle accessories

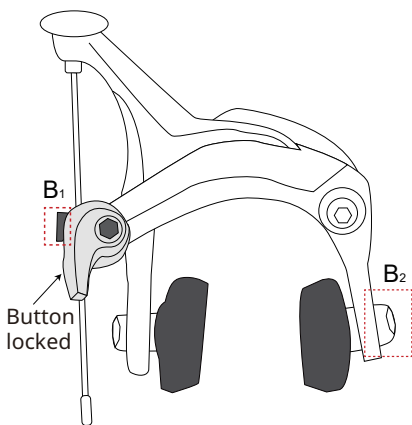
The components included in the product you actually purchased shall take precedence. The content described in this guide is for reference only and may differ from the components of the product you have.

Install the reflectors in the appropriate positions. Attach the front reflector (white) to the handlebar, and the rear reflector (red) to the seat post.



Reflectors

03 Caliper Brake Adjustment



Scan to watch

Brake Pad Alignment:

The vertical position and angle of the brake pads can be adjusted using the pad fixing bolt B_2 . When the brake is not applied, the gap between the left and right pads and the rim must be even and maintained at 1–2 mm (with the wheel centered between the pads). When the brake lever is squeezed, both pads should clamp the rim evenly and remain parallel to the rim.

Brake Cable Tension Adjustment:

Adjust the tension of the brake cable using the cable fixing bolt B_1 to fine-tune the braking performance.

04 Fixed Gear and Freewheel Switching Procedure

This product is set to freewheel specifications at the time of shipment. If you wish to change to fixed gear specifications, please follow the steps below. Please note that the same procedure applies when switching back from fixed gear to freewheel. This task requires specialized knowledge. If you are unsure, please consult a professional bicycle shop.

Procedure for Switching from Freewheel to Fixed Gear

1. Remove the rear wheel

Loosen the axle nut and remove the rear wheel from the frame. Disengage the chain from the sprocket.

2. Reverse the wheel orientation

Turn the wheel around so that the sprocket that was on the left side is now on the right side.

3. Reinstall the chain

Place the reversed wheel into the frame dropouts and reinstall the chain onto the sprocket (the fixed gear side).

4. Adjust chain tension

Pull the wheel back to adjust the chain slack to approximately 1–2 cm. Temporarily tighten the axle nut and ensure the tension is even.

5. Fully tighten the axle nut

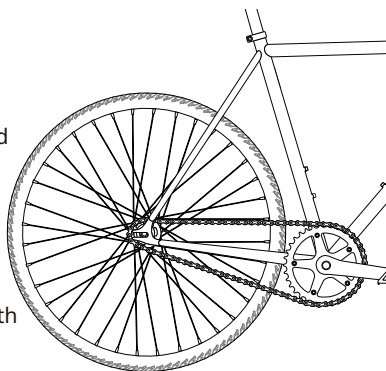
Confirm that the wheel is properly centered in the frame, then tighten the axle nut to the specified torque (for example, 20–25 Nm for both front and rear).

6. Function check

Rotate the pedals to confirm there are no abnormalities with the sprocket and chain. In fixed gear mode, verify that the wheel stops when the pedals are stopped. Perform a test ride at low speed until you become accustomed to the braking operation.



Scan to watch





Scan to watch the
assembly video on
the YouTube
channel



Scan to download
the user manual



YouTubeで日本語
の組み立て動画を
視聴する



完全な日本語取扱
説明書をダウンロー
ドする